

農業振興公社・中山間地域の農業法人等 & 農政建設常任委員会

農業法人等の皆さんから、農業資材や飼料等の価格高騰などにより、経営に大きな影響を受けている現状と、行政に対して様々な支援を求める声をお聴きしました。

なお、この日にいただいたご意見・ご要望は、行政にそのままお伝えしました。



議会報告会・意見交換会



議会での審査内容を報告する「議会報告会」と、市民の皆さんの意見をお聴きする「意見交換会」を開催しています。
令和4年11月は、牧区・有田区・吉川区・大島区の4会場で開催しました。

各会場での意見・回答など詳しくはこちら



議会では
文教経済常任委員会において対応を協議しました。協議結果は次のとおりです。
定住促進に関する制度を市民により浸透させるため、制度の更なる周知やターゲットの見直しを行政に求めます。また、令和6年度から始まる奨学金の返還支援制度の周知を行政とともに推進していきます。

次の開催についてのお知らせを最終ページに掲載しています。ぜひご参加ください！



議会では
意見を行政に伝え、行政から「行事や訓練の見直しで団員の負担軽減を図るほか、高校生へのパンフレット配布などの啓発活動を行い、団員確保に取り組んでいく」との回答がありました。

若者の定住促進と奨学金
▽市外の大学に進学した学生が、上越に帰りやすいように、定住を促進するような手当などを検討してほしい。

消防団の団員確保

▽今後、消防団員を確保して地域の防災力を維持できるの心配。若者が入団しやすい体制を整えていくべきだと思う。

お聴きしたご意見と、議会での対応状況を一部ご紹介いたします。

特集 皆さんの「声」を市政に届けます

様々な世代や団体の皆さんの声をお聴きするため、意見交換を行っています。
令和4年度は、厚生常任委員会と農政建設常任委員会が意見交換会を開催しました。



令和5年2月7日

上越ワーキングネットワーク & 厚生常任委員会

上越ワーキングネットワークの皆さんから、団体の活動状況と課題をお聴きし、障害者の就労支援の現状を把握しました。



- コロナ禍で販売会の機会が減少している。
- 福祉関係者以外の認知度が低い。
- 農福連携では、利用者の高齢化に伴い作業内容と利用者のマッチングが課題である。
- 事業所間の情報共有の場として、上越ワーキングネットワークの存続は重要である。
- 法改正により施設外就労加算が廃止されたため、市の独自支援をお願いしたい。

上越ワーキングネットワークとは？

上越地域で障害者の就労支援を行っている15事業所が加入する組織で、連携して作業等を受託することで工賃アップを図り、障害のある方が自立した生活を送ることができるよう活動しています。

- ▼ 15事業所の一つ、つばき工房では、衣類クリーニングや、ごみ袋、おしぼりの作業を行っています。
- ▼ 作業の際は、専門の職員が利用者の皆さんの特性に沿った指導を行っています。



つばき工房では、「なかよく」とありがとうのロゴマークを印刷したオリジナル商品の販売も行っています。



／おしぼりを丁寧に広げて機械にセット／



／市の指定ごみ袋をきれいにたたむよ／



／衣類クリーニングの仕上げも丁寧に／